



厳正な審議が行われた決算特別委員会

田子町 議会だより

2014



目次

平成25年度決算を認定	2
議案審議	6
一般質問	8
委員会報告	10

第81号

平成26年12月24日発行
青森県田子町議会

第3回定例会

平成25年度 全会計の歳入歳出決算を認定

定例会の

あらまし

9月定例会は9月5日から11日までの7日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、条例改正や補正予算案、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定など7件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。

8日の一般質問には2人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。その後、町長から説明のあった議案7件について審議しました。

9日から11日にかけて決算特別委員会が行われ、全会計の歳入歳出決算を認定すべきものと決しました。

一般会計

歳入歳出差引額は1億7488万4千円で、そのうち1億5千万円は基

金へ繰り入れ、残額の2488万4千円は翌年度繰越額（うち1345万4千円は繰越明許費繰越額）となっている。

町税の徴収率は、前年度より1.3%上回り92.8%となり、収入未済額3017万5千円（前年度比640万3千円減）、不納欠損額495万4千円（前年度比6千円減）となっている。

また、保育園運営費保護者負担金の収入未済額は、317万6千円（前年度比49万1千円増）、町営住宅使用料の収入未済額は、84万3千円（前年度比39万9千円増）となっている。

国民健康保険事業

歳入歳出差引額は3374万円で、そのうち1800万円は基金へ繰り入れし、残額の1574万円は翌年度繰越額となっている。

国民健康保険税の徴収率は前年度より3.0%上回り83.5%だが、その内訳は、現年分95.2%、滞納繰越分28.3%となっており、収入未済額4207万3千円（前年度比1017万円減）、不納欠損額699万円（前年度比258万3千円減）となっている。

後期高齢者医療

歳入歳出差引額は67万5千円。後期高齢者医療保険料の徴収率は、99.7%で、収入未済額は、17万6千円となっている。

介護保険事業

歳入歳出差引額の67万8千円は翌年度繰越額となっている。

介護保険料の徴収率は99.6%（前年度比2.4%増）であり、その内訳は、現年度分99.0%（特別徴収100.0%、

普通徴収91.4%）、滞納繰越分23.9%となっており、収入未済額275万円（前年度比17万6千円減）、不納欠損額89万3千円（前年度比16万1千円減）となっている。

診療所・老健施設事業

歳入歳出差引額は1749万6千円。一部負担金の収入未済額は、889万8千円（前年度比23万2千円減）となっている。

水道事業特別会計

収益的収入総額1億3524万7千円、支出総

額1億4043万5千円で、差引当年度518万8千円の純損失を生じ、前年度繰越利益剰余金にて補てんし残額の未処分利益剰余金は657万2千円となっている。

この剰余金については、翌年度繰越利益剰余金として繰り越すもの。

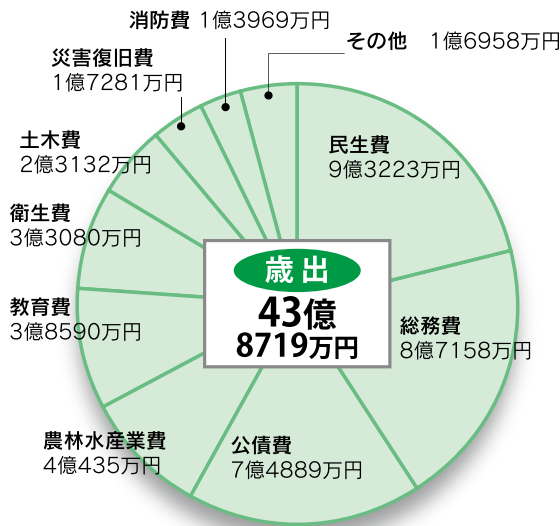
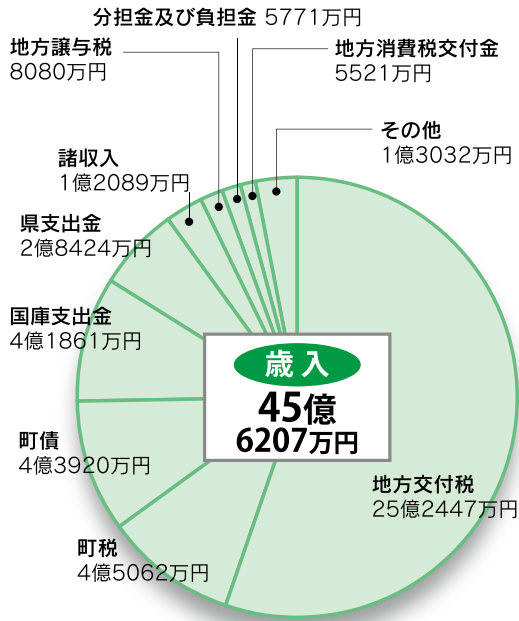
平成25年度各会計の決算額

(単位：千円)

会計区分	歳入	歳出
一般会計	45億6207万6	43億8719万2
特別会計	27億3048万3	26億7083万8
国民健康保険事業	10億5491万7	10億2117万7
後期高齢者医療	6301万	6233万5
介護保険事業	10億30万6	9億9351万8
介護サービス事業	2216万6	2122万
田子町立田子診療所及び介護老人保健施設事業	5億9008万4	5億7258万8
合計	72億9255万9	70億5803万円

会計区分	歳入	歳出
企業会計	収益的収入	1億4198万3
	収益的支出	—
	資本的収入	6570万
	資本的支出	—
水道事業	—	1億4464万4
水道事業	—	—
水道事業	—	1億2633万8

平成25年度 一般会計の内訳



項目	説明
地方交付税	全国的に一定の行政サービスを受けられるよう、市町村間の財政力格差の調整のために国が交付するお金。
町税	町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税
町債	町が大きな事業をするために借りるお金
国庫支出金	国が使い方を特定して交付するお金
県支出金	町が行う事業に対して県から交付される、使い道が決められているお金
諸収入	延滞金、預金利子、受託事業収入、雑入など
地方譲与税	国税として徴収されるが、その全部または一部が地方公共団体の財源として譲与されるお金。
分担金及び負担金	町が行う事業により利益を受けるかたから、その受益を限度として徴収するもの。保育園保育料、老人保護措置（養護老人ホーム）費など
地方消費税交付金	消費税の一部を、人口と従業者数に応じて町に交付されるお金。
その他	基金利子、一般寄附金など

項目	説明
民生費	高齢者や身体障害者、児童への福祉施策などの経費
総務費	庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、選挙、統計など幅広い事務事業に使われる経費
公債費	町の借金を返済するために使うお金
農林水産業費	農林畜産業の振興を図るための支援や生産基盤整備などの経費
教育費	学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などの経費
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費などの経費
土木費	道路、河川、公園などの整備、維持管理の経費
災害復旧費	降雨、暴風、地震などの災害により被災した施設を復旧するための経費
消防費	消防防災対策の充実などに使われる経費
その他	その他の経費

決算審査意見書（要旨）

一般会計及び特別会計とも、予算の執行については、効率的かつ適正な執行が行われていることを確認し、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められる。

また、収入未済額においては、町税及び国民健康保険税は減少傾向にあるものの、保育園運営費保護者負担金、町営住宅家賃は、増加傾向にある。町全体の会計では、依然として収入未済額は大きな金額となっており、

滞納整理の推進と区市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げるとともに適正な欠損処分処理を望む。そのためには、庁内の連携は勿論のこと、情報収集等に努め、より一層の協力が必要と思われる。

歳出については、交付税等の減少が進むなか、年々厳しさが増す昨今であり、健全かつ着実な財

政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければならないものと思われる。よって、今後の事務事業の予算編成及び予算執行にあたっては、町財政健全化計画及び本町のおかれている現実への認識を深め、行政上の効果を高めるよう努力していただきたい。他団体への補助金交付については、補助金交付申請書並びに決算書の精査を綿密に行い、適正な補助金交付を望む。

また、特別会計に係わる事業運営にあたっては、後期高齢者医療、介護保険事業勘定に係る経費が年々増加の傾向にあり、一般会計からの繰入金依存度を軽減するためにも予防医療事業に力を入れるなど創意工夫に努力されることを望む。

田子町監査委員

高沢靖直
砂子田康雄

町の決算を審査

9月9日から11日までの決算審査特別委員会では、委員長に宇藤大介委員、副委員長に千葉健一郎委員が選任され、議員全員が委員となり、平成25年度決算について審査を行いました。町民に代わって、予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し評価します。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

決算特別委員会

質疑

歳入

町の基金について

問 蹴場委員

町の基金の1億5000万円は町内のどの金融機関に入っているか。

答

中村会計管理者
基金に関しては、青森銀行田子支店の町の会計管理者口座に一括で入金されている。

問

蹴場委員
県信用田子支店、八戸農協田子支店、青森銀行田子支店の3社に配分する方法が望ましいと思

うが。

答

山本町長
ペイオフ制度(※1)の執行もあり、より安全性を確保するという観点から現行のスタイルのようである。

問

蹴場委員
金融機関と言えども、利益の上がらない店舗は閉鎖される可能性もある。そういった場合への対応は考慮しているのか。

答

山本町長
今後、様々検討を重ねる。

※1 ペイオフ(預金保険制度)

万が一、金融機関が破綻したときに預金者の預金等のうち、一定のものを保護する制度。個人や法人など、一つの金融機関につき、1千万円までの預金とその利息が保護される。

町税の徴収について

問 澤口勝委員

町税の徴収において、不納欠損額(※2)、収入未済額(※3)等々が非常に大きく記されているが、内容の詳細と今後の回収に対する見通しは。

答

蹴場税務課長
個人住民税40人分の欠損額2130万円、法人税2社の10万円、固定資産税68件分の259万3千円、軽自動車税32人分の22万9千円となっている。県の滞納整理機構等に徴収委託並びに滞納者への文書での督促、職員による訪問徴収の強化を図り、前年度並みの徴収実績を残したいと考えている。

収入未済額の見直し

問 沢口博二委員

収入未済額が去年の約2倍であるが、今後の見直しは。

答

岩間建設課長
主なものは町営住宅の使用料で、現在50万8千円の滞納があるが、住宅の使用料は前年度の所得が影響する。所得証明証や、入金確約書の書類を提出させ、実際の金額は確実に減ってきている。今後も粘り強く対応に努める。

※2 不能欠損額

死亡や居所不明等、何らかの理由により滞納分の徴収金が徴収できなくなり、将来にわたり納入される見込みのないもの。

※3 収入未済額

予定される収入金額のうち、出納閉鎖日の5月末日までに収納されなかった金額。この収入未済額は翌年度に繰り越され、引き続き督促等を行い徴収に努めることとなる。

歳出

ふるさと納税の件数

問 日沢委員

ふるさと納税の件数と納税額、今後の目標とする数値の設定は。

答

岩間税務課税務グループリーダー
25年度の実績は73件で、納税額は165万8千円。目標は700万円以上を設定している。お礼として差し上げる品数も18件まで増やしたのも、今後もホームページ等に対する申し込みの伸びは期待できようである。

委託料の内容は

問 尾形委員

標準宅地不動産鑑定委託料366万円の内容について。

答

蹴場税務課長
委託先は青森の不動産鑑定事務所で、ここは町のデータを古くから所掌しており、便宜上委託している。

問

尾形委員
新しい委託先を考えているか。

答

蹴場税務課長
町の状況を把握し、データを持っている業者なので他者への委託は考えていない。同じ業務を行っている業者は当町にはなく県内に数社ある。

ごみ減量の啓発は

問 千葉委員

町民がごみの減量に努めれば、町民の皆様の節税につながる事実を指導、啓発はしていかないのか。

答

山本町長
役場の方でもごみの分別等々については、カレンダー等を通して指導している。ケーブルテレビでの情報提供、不法投棄禁止の呼びかけを実施している。今後も、ごみの減量、リサイクルへの取り組みを周知啓発していく。

にんにくオリジナル品種の増殖状況

問 日沢委員

にんにくオリジナル品種の増殖状況、農家配布はいつ頃か。

答 菊地産業振興課長
平成24年度からの事業となり、通常の増殖より時間を要しているが、現時点での配布は29年度の秋からと考えている。

問 日沢委員
優秀な種子であつても、土壌が汚染されているのはその効果が薄れるのでは。その対策は。

答 菊地産業振興課長
畑の汚染度合いにもよるが、健全な種子を植えた場合、ある程度の収穫ができる見通しを立てている。今後も農協や生産部会、耕作者との綿密なる協議を重ね、慎重に事業を推進していく。

問 日沢委員
町独自の種増殖基地を作るべきだと思つた。

答 山本町長
種子事業は大変難しいもの。現時点では毎年3町歩分の種を供給できる体制作りを検討している。

総合的な考え方でにんにくを考察し、資料を集め蓄積し、町のにんにく産業をしっかりと底支え

していく意味で、種の研究所は構想の中にはある。研究を重ねて参りたい。

肉牛の状況は

問 日沢委員
高齢化により生産者が少なくなっている。肉牛の置かれていく状況、推移はどうなっているか。

答 白坂産業振興課農業振興グループリーダー
頭数と従事者が減っているのは事実だと考えている。昨年度から産地形成事業を実施しており、農家の方の協力も得ながら肥育に力を入れてきて

いる。繁殖農家に対しては、産地形成事業を実施し、優秀な牛を町内で増やしている。

田子牛産地とは

問 尾形委員
田子牛の産地と言うが、生産しただけで産地とは言えないのではないか。目標の位置づけは。

答 菊地産業振興課長
現在、肥育牛は年間約80頭が町内で生産されている。少なくとも倍以上の頭数を目標に掲げている。繁殖牛は600頭いるが、約1・5倍程度を目標としている。

創遊村の今後

問 尾形委員
創遊村の現状と、これからの展望は。

答 菊地産業振興課長
指定管理(※4)をお願いして施設の管理は行っている。1つの取り組みとして、創遊村並びに229ドームを中心にグルメマラソンを実施している。また、今年はスキー場を活用したイベントを予定しており、町がてこ入れた形で、創遊村を使っていたり、創遊村を考えていきたい。

答 山本町長
創遊村に限らず大黒森全体としてとらえ、ロッジカウベルでの宿泊を可能にし、創遊村各施設を活用しての合宿や研修の誘致ができるか考えている。

水道事業特別会計

水道管の耐震性は

問 尾形委員
水道の配水管の更新は毎年行われているが、町内一回りとするとのどのくらい年月がかかり、その耐震性は大丈夫であるのか。

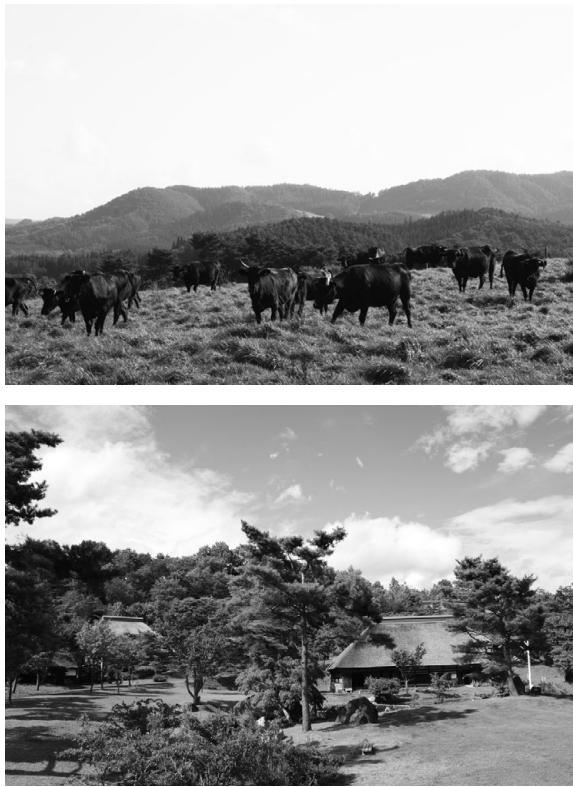
答 岩間建設課長
更新そのもの全て終了するとなると10年ぐらいいなろうかと思われる。耐震性については、その強度を指し示す規格自体がないが、余程のことがなければ大丈夫と考えている。

問 田子の水の活用
千葉委員
町の水をペットボトルとし、利用する計画はないか。

答 山本町長
町の水をどう扱うべきかということについて、1つの大きな方向性として、町内で使うよりは町外の方へPRとしての使い方が主なものだろう

うと思つている。従つて、各種イベントや、首都圏への物産の販売等々の時に経費を見込んで計算できるのであればやつても良いと思つているが、ただ「はい、わかりました。やりましょう」という格好になって使えないとなると、それは非常に課題が大きいです。職員からも様々なアイデアを募り、議員の皆さんとのしつかりとした共通認識が得られれば、実現の可能性は高いのではないかなと思つている。

※4 指定管理者制度
公の施設の管理を自治体が外部に委ねる場合は、相手先が地方公共団体やその外郭団体に限られていたが、議会の議決を経て指定された民間事業者を含む幅広い団体(指定管理者)に委ねることができるとする制度。



審議結果

条例の改正や補正予算等、7件の議案が提出され、審議しました。結果を一覧で掲載します。また、質疑を要約して掲載します。

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果
議案第48号	田子町国民健康保険条例の一部改正 産科医療補償制度の見直しに伴い、出産育児一時金の金額を見直す必要があるため、関係する条項を改正するもの。	可決
49	田子町美しいまちづくり条例の制定 県境産廃不法投棄事案により学んだことを活かし、生活環境の向上を図るなど、美しいまちづくりに取り組むため制定するもの。全21条	可決
50	一般会計補正予算（第3号） 主な歳入 がんばる地域交付金等3536万1千円、青年就農給付金事業補助金等1437万2千円、一般寄附金655万2千円。 主な歳出 社会保障・税番号制度システム改修委託料等2266万1千円、青年就農給付金事業補助金等1265万2千円、施設修繕料等679万6千円、土木作業等業務委託料等1623万2千円、災害復旧工事600万円。補正後の予算総額を44億4657万7千円とするもの。	可決
51	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号） 歳入は基金からの繰入金が増額が主なもの。歳出は前年度国庫負担金精算による返還金等の増額が主なもの。歳入歳出にそれぞれ532万円を追加。歳入歳出予算の総額をそれぞれ10億1711万1千円とするもの。	可決
52	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入は後期高齢者医療保険料の確定見込みによる減額。歳出は後期高齢者医療広域連合納付金の減額。 歳入歳出からそれぞれ544万6千円を減額。 歳入歳出予算の総額をそれぞれ6505万4千円とするもの。	可決
53	介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号） 歳入は財政調整交付金の交付見込みによる増額。歳出は前年度国庫負担金精算による返還金等の増額が主なもの。歳入歳出にそれぞれ1298万2千円を追加。歳入歳出予算の総額をそれぞれ10億1433万円とするもの。	可決
54	国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号） 繰越金等前年度精算による補正が主なもの。歳入歳出にそれぞれ55万9千円を追加。歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億9131万2千円とするもの。	可決
認定第1号	平成25年度田子町各会計歳入歳出決算の認定について	認定

質疑

田子町総合計画について

【問】 職場議員

田子町総合計画に携わる委員の人数と報酬は。

【答】 堀田政策推進課長

審議会は20名、専門部会は50名で、両審議会、専門部会とも会長については1日57000円、委員は1日53000円の単価になっている。

【答】 山本町長

審議会20人は庁内のプロジェクトチームの人数で、専門部会50人は、総合計画策定にあたり5つの基本目標を立て、それぞれの専門家10名程度として決めている。多くの町民を招いて意見を出してもらい、一緒になって10年間を考えるためにこの人数とした。

9月定例会の 主な補正予算

9月補正予算

(単位：千円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		6,897万4	44億4,657万7
特別会計	国民健康保険事業	532万	10億1,711万1
	後期高齢者医療	△544万6	6,505万4
	介護保険事業	1,298万2	10億1,433万
	町立田子診療所及び介護老人保健施設事業	55万9	5億9,131万2

一般会計 歳入

がんばる地域交付金

2627万2千円

平成25年度の国の経済対策に伴う補正予算を活用した地方負担額に対して交付されるもの。

青年就農給付金事業補助金

450万円

新規就農者、経営を継承する青年就農者を支援するもの

一般会計 歳出

一般寄附金

655万2千円

ふるさと納税650万円が主なもの

一般会計 歳入

総務費

社会保障・税番号制度システム改修委託料

1373万6千円

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴うシステム改修の委託にかかる経費。

農林水産業費

青年就農給付金事業補助金

450万円

5人の青年農業者への支援

商工費

350万円

圧雪車庫の修繕

消防費

消防水利施設設置工事費

80万円

遠瀬地区の老朽化した消火栓を更新するもの

教育費

施設修繕料

65万円

公民館のドアの修繕

災害復旧費

現年発生公共土木施設災害復旧費

600万円

8月15日に発生した根渡地区の災害復旧事業費

○第3回臨時会

会期

平成26年7月30日

議案 議案第46号 動産の買入れについて（圧雪車購入）

内容

動産の買入れについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるもの。

○第2回臨時会

会期

平成26年7月8日

議案

議案第45号 平成26年度田子町一般会計補正予算（第2号）

補正額

100万円

内容

中高一貫教育推進事業補助金（田子高校郷土芸能部生徒の「第4回高校生」の神楽甲子園」への参加費用の助成）

審議結果

可決

○第3回臨時会

会期

平成26年7月30日

議案 議案第46号 動産の買入れについて（圧雪車購入）

内容

動産の買入れについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるもの。

議案

議案第47号 工事請負契約の締結について（避難施設再生可能エネルギー設備設置工事）

内容

工事請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

審議結果

全議案とも可決

一般質問



5番 千葉健一郎 議員

役場職員の指導について

【質問1】
役場女性職員の幹部登用をどのように考えているか。

【町長答弁】
現在、町の女性職員は57人、グループリーダー級以上の管理職は8人であり、少数にとどまっている。今後、人口減少に伴う職員数の減少が予想されることから、女性職員の管理職登用は重要である。実績の積み上げ、各種研修への参加を通じ、

意欲や能力を適正に評価しながら女性職員の重要ポストへの登用を積極的に行い、管理職への育成を推進してまいりたい。

【質問2】
今後人口が減ったからという話に聞こえたが、今から実施する必要があるのではないか。

【町長答弁】
今年度、女性の中からも数人を主幹から総括主幹に上げた。男性でも女

性でもしっかりとした仕事をし、管理ができ、将来展望を一緒に考えていく方は管理職になって下を指導していただく。今後の人事についても、ふさわしい方がいれば登用していくつもりである。

【質問3】
町外在住の役場職員38人についての町長の所見を伺う。

【町長答弁】
町外に住所を置いている場合、災害時の招集に不具合を生じる、住民税が町の収入とならない、自治会等の地域活動に支障が生じる等の問題がある。これら懸念事項を説明し、町内への移住を促してきたが、十分な成果をあげられていない。町職員として職務を遂行し、地域活動に積極的に参加するためにも、田子町に住居を構えてもらうことが重要と考え、説得に努

一般質問とは、町村の重要な意志を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する権能を有する議員が執行機関の所信や疑義をただすため、固有の権限として与えられているものである。

めて参りたい。

役場駐車場について

【質問1】
元公民館別館跡地を利用した方が良く考えるが町長の所見は。

【町長答弁】
元公民館別館跡地、通称親水公園は、平成3年に「ふるさとの川モデル事業」の一環として、良好な水辺空間の創出、憩いの場の提供を目的に、県営の河川回収事業と併せて町で整備したものである。現在は南側自治会で年3回程度の掃除や花植えをして管理していただいている。今後の活用について、駐車場も含め有効な活用方法があるのか検討してまいりたい。

田子高校への援助について

【質問1】
県立高校教育改革第三次実施後期計画において、平成29年度までの期間、高校存続は確約されているが、危機感を覚える。今後の援助策を町長に問う。

【町長答弁】
高校存続が容認された要因としては、他の県立高校への通学困難な地域があること、教育、文化・スポーツ活動の活躍、中・高一貫教育での成果等が挙げられる。町としては、今後もこうした活動を支援するとともに、田子高校及び後援会と連携を深め、要望等により、資金面での支援も検討していく方針である。

【質問2】
島根県の海士町では町外からの入学者が増加し

た。参考にしてはどうか。

【町長答弁】
海士町は本当に貴重な成功事例だと思っている。田子高校は、人間らしさ、この地域を愛しながら経営者と同じ気持ちになって働ける人材育成が図られた事によって、企業の皆さんに評価を得ている。この部分を活かして行けるかどうかは大きな判断材料になる。

【教育長答弁】
海士町の隠岐島前高校のように、県外から子どもたちを受け入れる体制ができないか調べたところ、青森県の場合は原則として保護者の転勤・転居により、入学するまでに青森県内に住居することが確実になければならぬとのこと。

バスの運転手の勤務状況について

【質問1】

一般社会では考えられない軽い処分だが、理由を示せ。

【町長答弁】

総務課期限付臨時職員
の運転手が、平成26年7月4日から6日までの2泊3日の行程で、田子中学校の生徒及び教師の方々を「第60回全日本中学校通信陸上大会青森大会」への移送業務の際、

当日の朝の出発時間に15分程度遅れを生じた。対象となる行為等については、関係機関から法令違反の確認はされておらず、

本事案の重大性や影響等を総合的に考慮する必要

がある。運転手本人には文章による厳重注意を行い、安全運転管理者である総務課長に対しても口頭による注意処分を実施し、戒めることとした。

一般社会においても妥当な処分であると認識している。

【質問2】

今回の事案の発生から処分に至るまで、行政の対応が遅かったと思えるが、組織として不備はなかったか。

【町長答弁】

この度の事案を承知したのが7月14日であり、翌15日には本人から事情聴取し、さらにその翌日の16日には中学校及び宿泊所経営者から確認をしている。

処分内容の検討に1週間程度の期間を要したが、本人への処分の方向性の協議、議会への対応においては速やかであったと認識している。

【質問3】

担当課長、副町長、町長の責任は。

【町長答弁】

副町長、町長の責任の取り方については、今後このような事案が発生しないよう徹底的に指導するとし、鋭意努力に努める。ご理解をお願いしたい。

太陽光発電設備の入札について

【質問1】

以前の入札制度と何が変わったのか。

【町長答弁】

総合的な不落対策の取り組みを進めるため、今年度からは予定価格の事後公表から事前公表へと変更をしている。

【質問2】

前回の落札業者を外さなかった理由は何か。指名業者の審査会では問題にならなかったのか。

【町長答弁】

前回の入札については談合等の情報はなく、入札不調案件でもなかったこと、指名審査委員会の審査においても昨年の落札業者を外す等の問題提起はなされなかったため。

【質問3】

前回は公正な競争入札が疑わしいとして議会は否決したが、今回その点についての町当局の説明がなかったのは何故か。

【町長答弁】

本年6月定例会開催中の議会全員協議会において、議員各位にご理解をいただいたと考えていた。入札についても、予定価

格の事前発表で応札者側にも納得してもらい、適正な手続きでなされた結果として議会に提案したものであったため、再度の事前説明をしなかった。不十分とのご指摘であれば、今後種々配慮し、進めて参りたい。

介護制度について

【質問1】

けやき荘のデイサービスセンターが休止する事実を把握しているか。

【町長答弁】

平成26年7月17日付で休止届が提出され、把握している。

【質問2】

町からの利用者の紹介がなかった理由は。

【町長答弁】

認知症対応型のデイサービスの利用は高額なため、1日でも多くサービスを利用したい方々や、そのご家族の理解が得られにくい状況にあったと認識している。田子町居宅介護支援事業所におい

て、利用者、家族の有益性を考慮し、利用の提案を進めている状況である。

【質問3】

介護関係者の会議とは。

【町長答弁】

介護保険法において、介護保険運営協議会を年に2回、地域包括支援センター運営協議会を年に1回開催することとなっている。主に予算・決算を審議し、前者は介護保険に関する計画の立案、後者は介護予防に関する内容について協議されている。

また、田子町地域ケア会議では、高齢者、障害者の具体的な処遇方策、障害者の在宅福祉サービス、養護老人ホームや高齢者生活福祉センターの入所判定の協議等を行っている。

さらに、サービスの質の確保を目的に、介護保健法の指定地域密着型サービスの運営に関する基準を事業所ごとに協議する運営会議を年6回開催している。



9番 沢口博二 議員

議員活動報告

議員はそれぞれ、総務・文教常任委員会と産業・民生常任委員会の2つの常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会に所属して活動し、町政に活かすため、研修会の参加や先進地の視察も行っております。

【学校訪問】

○実施日 7月14日

各学校から学校経営・運営の方針や学校課題と解決のための対策及び要望事項の説明を受け、校内一巡や授業参観を行った。

各学校とも経営の目標や運営方針をしっかりと立て、それに沿った教育活動を行い、課題解決に向けて取り組んでいた。授業参観では、どの学年も明るく楽しく勉強していると見て来た。特に1年生は4月から3ヶ月の学校生活だが、学校にも慣れて、楽しく勉強しているように感じた。

【所管に係る事務事業調査】

○実施日 8月22日

教育課関係では、7月14日に実施した学校訪問時に、各学校から提出された要望事項の対応について、上郷小学校では、校舎2階ベランダに設置されている手すりのコンクリートのひび割れと、鉄柵の腐食、体育館出入り口軒先のボードのはがれ、

その他、雨漏りや壁の剥離等修繕の必要な箇所が多いため、調査を実施し修繕内容を検討していく。

田子中学校では、校旗の新調他12項目の要望があり、給食用の牛乳保冷庫については修繕を行いました。小学校の保冷庫も同様に修繕しました。校旗は64年経過し損傷が激しいため、補正予算に83万2千円を計上し、その他については調査し順位をつけて整備していく。

公民館については、鉄の扉が7枚あり、重く、また中が見えず危険なため、軽くて中が見えるものに交換するため、補正予算に65万円計上、ホールの音響設備に68万円計上し整備していく旨の説明を受けた。

政策推進課関係では、地域おこし協力隊の応募について、男性1名の応募があり、町の資源掘り起こし担当を希望であった。書類選考は合格のため、2次選考を実施し、男性の方は10月1日から、女性の方は11月1日から活動する。

【現地調査】

○実施日 8月6日

建設課の工事関係について現地調査を実施。25年度災害復旧工事の繰り越し分の公共土木災害工



事、農林水産業の施設災害工事は完成し、農地災害工事は土砂排除が順調に進み、田植え作業に支障はなかったとのこと。生活道も舗装工事が完成し利用しやすい道路となっていた。

県工事の熊原川河川災害復旧工事も視察。工事が順調に進捗していることを確認した。

【事務事業調査】

○実施日 8月29日

住民課関係では、4月から始まった学童保育について、田子小前の「すくすく館」は定員70人に対し現在71人となっているため、来年度は優先度を考慮し

定員内で受け入れるとともに、今後は増設等対策を講じなければならぬ。上郷分館は定員15人に対し現在15人となり、これ以上受け入れできない状態となっている。

環境関係の工事では、防犯灯LED化整備工事他4件を7月末から8月上旬までに発注し施工中。

産業振興課関係では、にんじんの高温処理やCA冷蔵庫の施設利用料の3分の1を補助することにしており、シート乾燥用施設設置補助事業では7月1日に設置を完了し、7月3日から使用を開始した。

健康な土づくりのための自走式堆肥散布車については、選定を行い、10月末納期に向けて契約済み。

生分解性マルチフィルム試験では、町内5箇所を実施したが、乾燥状態が続く微生物による分解が想定よりも進まなかった。生育状況は通常のマルチと差はなかった。今後、マルチの成分等を変えて試験を継続していく。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 沢口博二副委員長 砂子田康雄委員
蹴揚清人委員 宇藤大介委員

総務・文教常任委員会

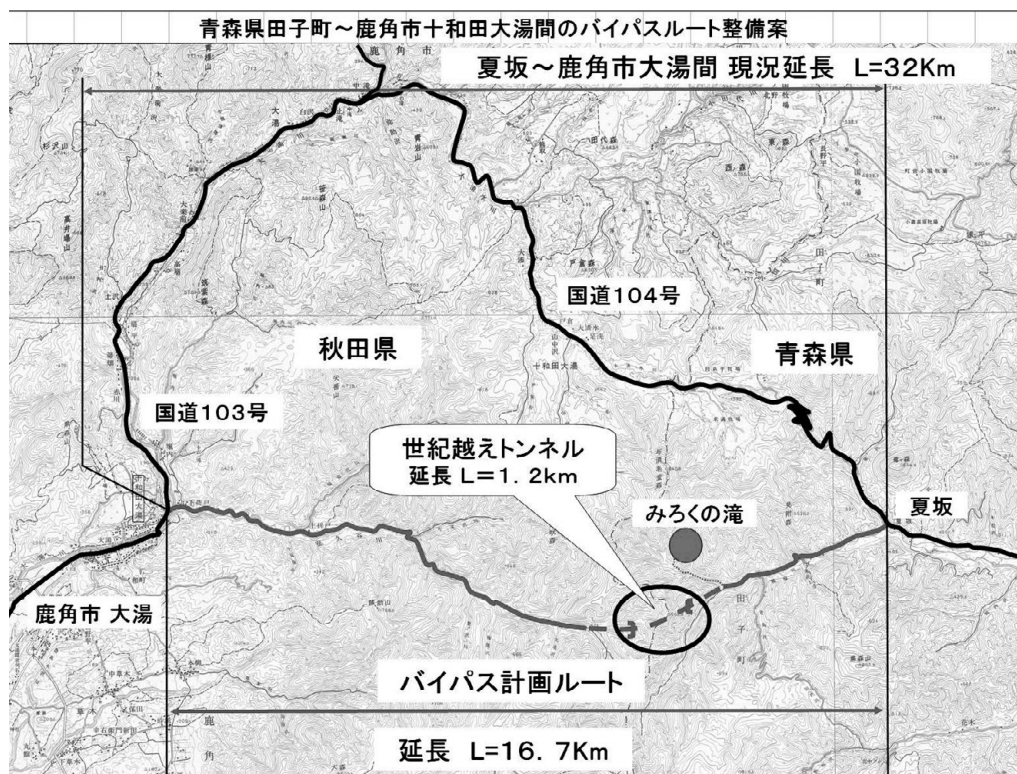
【構成委員】 日沢一雄委員長 千葉健一郎副委員長 梶本義見委員
宮村尚哉委員 澤口勝委員

世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会

【構成委員】

【鹿角市議会】 田村富男会長 宮野和秀幹事長 倉岡誠幹事 和井内貞光幹事 成田哲男幹事

【田子町議会】 澤口勝副会長 砂子田康雄副幹事長 蹴揚清人幹事 日沢一雄幹事 千葉健一郎幹事



【意見交換会】

8月9日、ホテル鹿角において、衆議院議員の大島理森議員と金田勝年議員、鹿角市副市長、田子町長、鹿角地域振興局建設部長、鹿角市議員、田子町議員による意見交換会が行われ、意見、要望、そして協議会

【要望活動】

八戸・能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会と

副会長の提案が出された。今後、地域が一致団結し、我々の思いを伝える場として、地域フォーラム等を開催し機運を高めたい。

【基本方針】

合同で、10月2日に秋田県庁に、10月9日に青森県庁に赴き、要望活動を実施した。

世紀越えトンネルの早期整備促進を図るため、八戸・能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会と歩調を合わせ、建設加速化に向けて行動する。

東日本大震災の教訓を生かした地域全体の交通ネットワークの形成や、北東北全体の活性化のために、東西軸強化による地域の連携と交流の拡大を目指す。

【事業計画】

国道103号及び国道104号（仮称・世紀越えトンネル）の早期整備を図るため、国・県等への積極的な要望活動のほか、鹿角市・田子町の住民に対する意識の高揚を図るための活動を積極的に実施する。

水道事業に関する調査特別委員会

【構成委員】 千葉健一郎委員長 宇藤大介副委員長 砂子田康雄委員 蹴揚清人委員

日沢一雄委員 椛本義見委員 尾形憲男委員 宮村尚哉委員 沢口博二委員 澤口勝委員

【現地視察】

○実施日 8月26日

○視察場所

一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社「奥入瀬湧水館」

○目的

ペットボトル飲料水製造の視察をし、資源としての水道水の活用方法などの調査・研究

湧水館では葛川に流れ込む湧き水を汲み、タンクローリーで運び、ミネラルウォーターを1日6千本、月に2万4千本から3万本製造している。法律では殺菌しないとボトルに詰められないことから、120度で3秒間の熱殺菌を行い、65度まで温度を下げてボトルに詰めている。

殺菌したことにより、開封しなければ常温で2年間保存が可能とのこと。

このことから、田子の水でミネラルウォーターを製造する経費の積算等を行い、活用できないか研究していただきたい。

当委員会でも視察研修内容を基にして話し合い、田子の水の活用について検討して参りたい。

田子町議員の紹介

議席番号 氏名 (行政区)

(1)趣味

(2)所属している委員会等



議長

10番 澤口 勝 (遠瀬)

- (1)映画鑑賞
- (2)総務・文教常任委員会、三戸郡町村議会議長会(会長)、青森県町村議会議長会(副会長) ほか



副議長

1番 砂子田 康雄 (山口)

- (1)麻雀
- (2)産業・民生常任委員会、議会運営(広報)委員会、監査委員、田子高原広域事務組合議員 ほか



2番 蹴揚 清人 (北側)

- (1)軍鶏の交配・研究
- (2)産業・民生常任委員会、八戸地域広域市町村圏事務組合議員、二戸市・田子町道路組合議員 ほか



3番 日沢 一雄 (山口)

- (1)読書
- (2)総務・文教常任委員会(委員長)、議会運営(広報)委員会、財団法人田子町にんにく国際交流協会理事 ほか



4番 椛本 義見 (野々上)

- (1)魚の養殖と鳥の飼育・機械修理
- (2)総務・文教常任委員会、田子高原広域事務組合議員、二戸市・田子町道路組合議員、田子町県境不法投棄原状回復調査協議会 ほか



5番 千葉 健一郎 (清水頭)

- (1)田子町の歴史研究
- (2)総務・文教常任委員会(副委員長)、議会運営(広報)委員会(副委員長)、三戸地区塵芥処理事務組合議員 ほか



6番 宇藤 大介 (野々上)

- (1)子育てに奔走すること
- (2)産業・民生常任委員会、議会運営(広報)委員会(委員長)、三戸地区塵芥処理事務組合議員、二戸市・田子町道路組合議員 ほか



7番 尾形 憲男 (清水頭)

- (1)スポーツ観戦
- (2)産業・民生常任委員会(委員長)、議会運営(広報)委員会、三戸地区環境整備事務組合議員、田子町消防委員 ほか



8番 宮村 尚哉 (矢田郎)

- (1)映画鑑賞
- (2)総務・文教常任委員会、三戸地区環境整備事務組合議員、二戸市・田子町道路組合議員、水道事業に関する調査特別委員会 ほか



9番 沢口 博二 (下本町)

- (1)読書(歴史物、仏教書)、散歩
- (2)産業・民生常任委員会(副委員長)、三戸地区環境整備事務組合議員、水道事業に関する調査特別委員会 ほか

編集後記

議会だよりは、ケーブルテレビ開設により映像での情報発信ができることから、平成5年の80号で休刊していましたが、今回、時代の要求に応え、これまでの歴史を継承して81号として再び発行することとなりました。

発行にあたり、広報委員会を設置し委員手分けして作業にあたりました。各委員大いに奮闘し発刊にこぎつけました。難しい事が多々ありますが、広報は議会認知のいいツールであるので、作成の輪番制も検討しながら継続していくべきものとの思いを深くしました。

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

広報委員会

委員長

宇藤 大介

副委員長

千葉 健一郎

委員

砂子田 康雄

日沢 一雄

尾形 憲男